

因島業界動向

2021年7月～9月

(令和3年7月～9月)

因島商工会議所

【因島経済動向調査(DI方式)報告】

(調査の概要)

1. 調査方法 FAX送信によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和3年9月の状況と前年同月調査との比較
②同一項目における令和3年10月～12月の先行き見通し
3. 調査時期 9月初旬～下旬
4. 調査対象 51社(製造業：17社 非製造業：34社)
5. 回収状況 回答 35社(製造業：16社 非製造業：19社)
回答率 68.6%

DI：各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格：DI = (下降) - (上昇)

製品・商品在庫：DI = (不足) - (過剰)

従業員：DI = (不足) - (過剰)

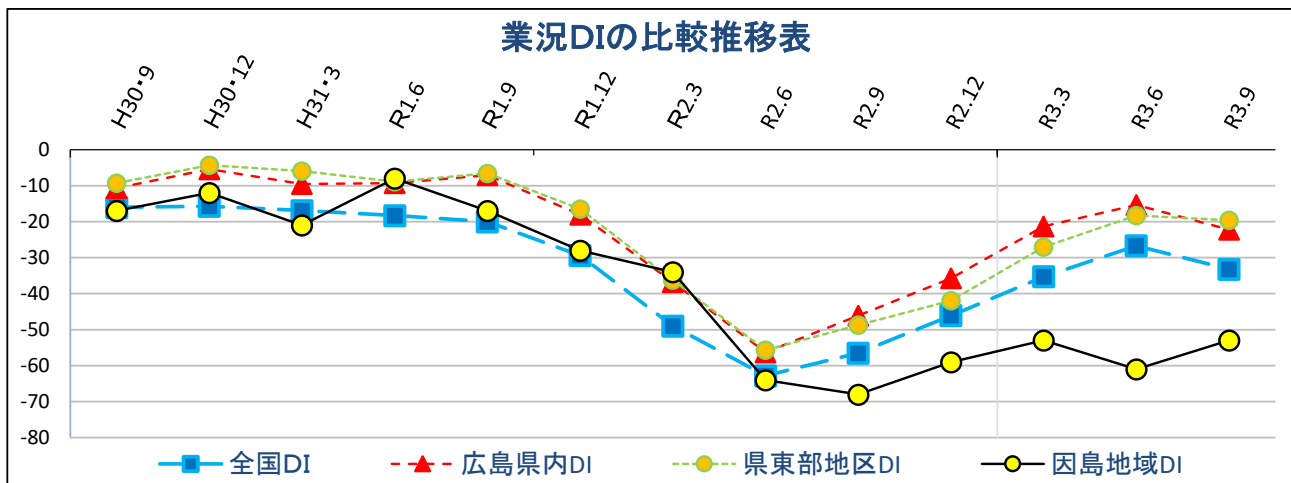
～因島景況の総括 令和3年9月期～

全業種DI（良い－悪い）は、▲51（前回6月調査▲61、R2.9月調査▲68）で前回調査から比較すると10ポイント上昇となった。

製造業では、船舶造修：▲75（前回6月調査▲40）と前回調査比で▲35ポイント。その他機械金属：▲20（前回6月調査▲25）で、製造業DIは▲37（前回6月調査▲43、R2.9月調査▲63）と6ポイント上昇となった。

当該エリアにおいても受注量の減少は依然続いているが、全国的な海上運賃の上昇に伴い船主の建造意欲が高まっていることもあり、受注案件が回ってきている事業所も見受けられる。

非製造業では、建設業：▲25（前回6月調査▲75）、卸売業：▲80（前回6月調査▲100）、小売業：▲67（前回6月調査▲67）、運輸・サービス業：▲71（前回6月調査▲56）で、非製造業DIは▲68（前回6月調査▲73、R2.9月調査▲71）で前回調査より5ポイント上昇となった。全業種ともに仕入高の上昇が見られた他、常用の従業員が不足していると回答した事業所が多く見られた。



【令和3年9月期 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.9月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	6%	37%	57%	▲51.0
(前回)	6%	27%	67%	▲61.0
(前年同月)	0%	32%	68%	▲68.0
製造業(当月)	13%	37%	50%	▲37.0
(前回)	14%	29%	57%	▲43.0
(前年同月)	0%	37%	63%	▲63.0
非製造業(当月)	0%	32%	68%	▲68.0
(前回)	0%	27%	73%	▲73.0
(前年同月)	0%	29%	71%	▲71.0

【令和3年10月～12月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI（良い－悪い）は▲40（前回6月調査▲41、R2.9月調査▲46）と前回調査より1ポイント上昇の見通しである。

製造業では、船舶造修：▲75（前回6月調査▲20）と▲55ポイント、機械金属：20（前回6月調査0）で、製造業DIは▲31（前回6月調査▲22、R2.9月調査▲44）で、▲9ポイントの見通し。

今後の予定表において、修繕ではドックが空く期間がある事業所もあり、船主からの費用削減要求も強くなる可能性もあることから、収益面において厳しい状況となるのではないかとの見方が強い。

本年5月に【海事産業強化法】が成立し、造船事業や内航海運業への支援の拡充が行われることに対して期待の声も上がっている。

非製造業では、建設業：0（前回6月調査▲50）、卸売業：▲100（前回6月調査▲100）、小売業：▲67（前回6月調査▲33）、運輸・サービス業：▲29（前回6月調査▲33）で、非製造業DIは▲47（前回6月調査▲55、R2.9月調査▲48）の見通し。

調査時は緊急事態宣言中であつたこともあり、厳しい状況が続くと回答した事業所が大半であつた。

【令和3年10月～12月先行き見通し 景況DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.9月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	6%	48%	46%	▲40.0
(前回)	6%	47%	47%	▲41.0
(前年同月)	11%	32%	57%	▲46.0
製造業(当月)	13%	43%	44%	▲31.0
(前回)	14%	50%	36%	▲22.0
(前年同月)	6%	44%	50%	▲44.0
非製造業(当月)	0%	53%	47%	▲47.0
(前回)	0%	45%	55%	▲55.0
(前年同月)	14%	24%	62%	▲48.0

～因島生産額・売上の総括 令和3年9月期～

全業種DI（良い－悪い）は▲57（前回6月調査▲59、R2.9月調査▲57）で2ポイント上昇となった。

製造業では船舶造修：▲75（前回6月調査▲40）、機械金属：▲40（前回6月調査0）で、製造業DIは▲43（前回6月調査▲29、R2.9月調査▲63）で▲14ポイントの減少となった。

非製造業では、建設業：▲50（前回6月調査▲50）、卸売業：▲40（前回6月調査▲100）、小売業：▲67（前回6月調査▲67）、運輸・サービス業：▲100（前回6月調査▲78）で、非製造業DIは▲68（前回6月調査▲77、R2.9月調査▲53）で、前回調査から9ポイント上昇となったが、全業種で仕入価格の上昇が発生しており、卸売業では商品販売価格の値上げを行っている事業所もある。

【令和3年9月期 売上DI】

《上段：当月調査分、中断：前回調査分、下段：R2.9月》

	好転	横ばい	悪化	DIポイント
全業種(当月)	6%	31%	63%	▲57.0
(前回)	8%	25%	67%	▲59.0
(前年同月)	8%	27%	65%	▲57.0
製造業(当月)	13%	31%	56%	▲43.0
(前回)	21%	29%	50%	▲29.0
(前年同月)	0%	37%	63%	▲63.0
非製造業(当月)	0%	32%	68%	▲68.0
(前回)	0%	23%	77%	▲77.0
(前年同月)	14%	19%	67%	▲53.0

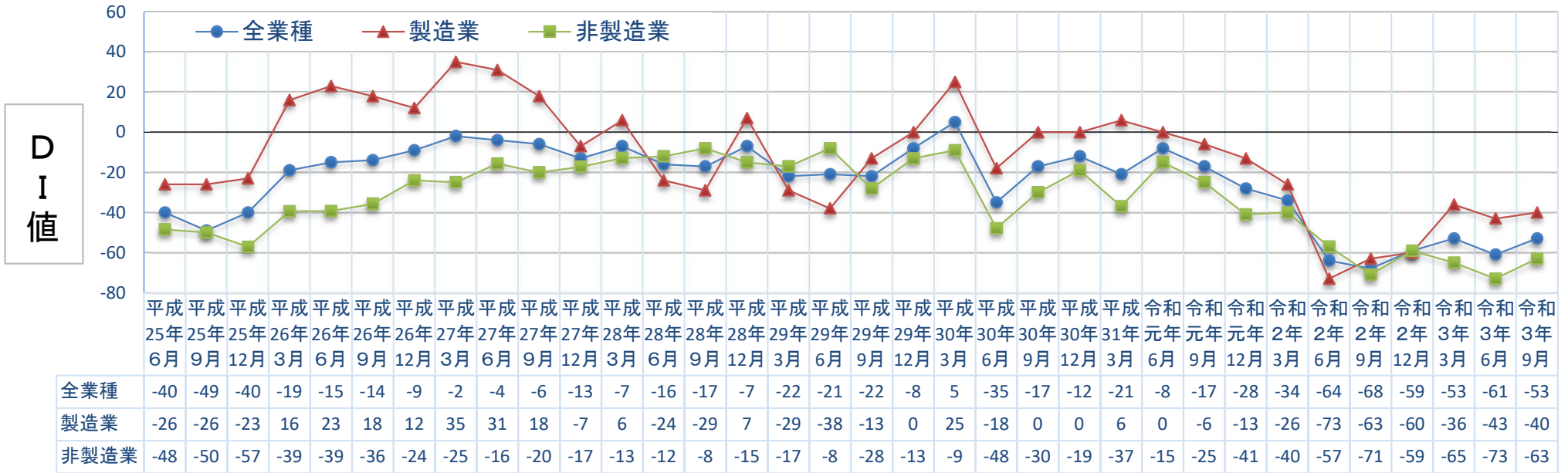
【令和3年10月～12月の先行き見通し 因島売上】

全業種DI（良い－悪い）は▲35（前回6月調査▲33、R2.9月調査▲33）で前回調査から見ると▲2ポイントの見通しである。

製造業では船舶造修：▲75（前回6月調査▲20）、機械金属：0（前回6月調査▲25）で製造業DIは▲25（前回6月調査▲22、R2.9月調査▲43）で前回調査より▲3ポイントの見通し。

非製造業では、建設業：▲50（前回6月調査▲50）、卸売業：▲80（前回6月調査▲83）、小売業：▲33（前回6月調査▲33）、運輸・サービス業：▲14（前回6月調査▲11）で非製造業DIは▲42（前回6月調査▲41、R2.9月調査▲24）と前回調査より▲1ポイントの見通し。

因島地域の景況感の推移



因島地域の生産額・売上額の推移

